

第2回 第14採択地区教科用図書採択協議会

会 議 録

日時 令和2年7月17日（金）

10時00分～16時30分

会場 吉見町役場 大集会室

第2回第14採択地区教科用図書採択協議会会議録

日時 令和2年7月17日(金) 10時00分～16時30分

会場 吉見町役場 大集会室

出席委員

中村 幸一(東松山市教育長)	松本 邦文(東松山市教育長職務代理者)
馬場 敏男(滑川町教育長)	横塚 元幸(滑川町教育長職務代理者)
永嶋 宣幸(嵐山町教育長)	嶋本 佳則(嵐山町教育長職務代理者)
小林 和夫(小川町教育長)	茶原 桂子(小川町教育長職務代理者)
久米 正美(ときがわ町教育長)	坂下美代子(ときがわ町教育長職務代理者)
関口 充(鳩山町教育長)	山口 尚人(鳩山町教育長職務代理者)
中村 正宏(川島町教育長)	及川三栄子(川島町教育長職務代理者)
大澤 幸正(吉見町教育長)	松本 晃(吉見町教育長職務代理者)
根岸 敏夫(東秩父村教育長)	高田 長子(東秩父村教育長職務代理者)

事務局・事務担当者

鈴木 寿(東松山市教育委員会教育部次長)
安元 信幸(東松山市教育委員会学校教育課長)
長沢 正博(東松山市教育委員会指導主事)
田中 稔浩(滑川町教育委員会指導主事)
不破 克人(嵐山町教育委員会指導主事)
田端 隆二(小川町教育委員会主任指導主事)
横山 大輔(小川町教育委員会指導主事)
島野 潤(ときがわ町教育委員会指導主事)
関 齊史(鳩山町教育委員会指導主事)
佐野 公洋(川島町教育委員会指導主事)
木伏 佑輔(吉見町教育委員会指導主事)
関根 廣紀(東秩父村教育委員会指導員)
笠間 利恵(東秩父村教育委員会主査)
杉原 達人(東松山市教育委員会生涯学習等推進員)

進行：東松山市教育委員会

安元学校教育課長 長沢指導主事

【事務局】

傍聴要領の確認

【傍聴者入場】

- 1 開会 第14採択地区教科用図書採択協議会副会長
- 2 挨拶 第14採択地区教科用図書採択協議会会長
- 3 日程説明 事務局
 - (1) 専門員代表者からの報告
 - (2) 質疑応答
 - (3) 協議
 - (4) 選定
 - (5) 選定結果の発表

【資料の確認】

- (1) 本日の次第
- (2) 専門員による教科用図書研究の結果報告
- (3) 埼玉県教育委員会の参考資料「中学校教科用図書調査資料」
- (4) 第14採択地区内中学校の研究集計
- (5) 教科書展示会アンケート
- (6) 教科書見本
- (7) 選定用紙

【議長】

慎重で円滑な協議に協力を願う。採択会議規約10条により、この会議は公開とするが、「報告」「質疑」を非公開とし、「協議」を公開とする。また、「選定」、「選定結果発表」を非公開とする。また、記録は要点記録としたい。承認いただければ拍手を願う。

【委員】

拍手多数

【議長】

これから令和3年度使用の中学校教科用図書の協議、選定を行う。非公開部分となるので傍聴者の退場を願う。

【傍聴者退場】

【議長】

協議を始める。専門員の報告、学校の調査結果、展示会場の意見は参考である。採択委員に

よる公平で適正な選定を願う。

A グループ（国語・書写・社会（地理・歴史・公民・地図））

国語

- （１） 代表者の報告（非公開）
- （２） 質疑（非公開）

書写

- （１） 代表者の報告（非公開）
- （２） 質疑（非公開）

社会・地理

- （１） 代表者の報告（非公開）
- （２） 質疑（非公開）

社会・歴史

- （１） 代表者の報告（非公開）
- （２） 質疑（非公開）

社会・公民

- （１） 代表者の報告（非公開）
- （２） 質疑（非公開）

社会・地図

- （１） 代表者の報告（非公開）
- （２） 質疑（非公開）

【議長】

傍聴者の入場を願う。

【傍聴者入場】

- （３） 協議

【議長】

国語の教科書について意見がある方の挙手を願う。

【A 委員】

読書教材については教育出版と光村図書が詳細であり、ボリュームもある。特に教育出版は「少年の日の思い出」の扱いなどに興味・関心を引く工夫があるので優れていると考える。

【B 委員】

教材数の豊富さ、多様さを考えると光村図書がよい。古典教材を比べてみると、光村図書と教育出版で差異があるが教材としての価値が高いものを取り上げているのは光村図書と考える。

【C 委員】

光村図書は多様な教材を扱い、言葉の力をつけようとしている。思考の流れの可視化も工夫している。

【議長】

書写の教科書について意見がある方の挙手を願う。

【C 委員】

東京書籍は筆遣いがわかりやすく示されている。また、見やすさやレイアウトに優れている。光村は文字が見やすく、わかりやすく書かれている。実用的であると感じた。

【B 委員】

中学校では楷書から行書への移行が指導上重要である。その点に関して、光村図書は指導過程がわかりやすく示されている。また、教科書のサイズも机に置いた場合、邪魔にならず適切である。

【A 委員】 光村図書は運筆の指導内容について優れている。

【議長】

社会・地理の教科書について意見がある方の挙手を願う。

【D 委員】

学びやすさや小学校の指導からの関連を考えると、東京書籍がこの地域の生徒には適切だと考える。

【A 委員】

生徒の興味・関心を高める工夫が大切である。その点から教育出版が工夫されている。中1、2、3年と系統性も整っている。

【C 委員】

東京書籍、日本文教で迷う。東京書籍は学習課題がわかりやすい。アイコンなども工夫して学習の流れにのせる配慮がある。日本文教は見方、考え方を示して学習を上手に促している。また、発展的な学習への工夫もされている。

【議長】

社会・歴史の教科書について意見がある方の挙手を願う。

【D 委員】

東京書籍は学習課題が明確に示してあり取り組みやすい。また、指導の展開例も具体的に示してあり、最近増えてきた若手の教員たちにとっても使いやすい教科書だと考える。

【A 委員】

東京書籍もよくできているが、興味・関心を引きつけ、歴史を実感できるということから教育出版が優れているように思う。写真や資料、人物に関する資料も豊富である。

【C 委員】

東京書籍と日本文教の2社がよくできている。東京書籍は様々な活動が示されていることや見やすさがある。日本文教は課題、見方、考え方が示してあり学習の流れに自然にいきなうようになっている。発展学習にもつながりやすい。文字の数も適当で見やすい感じがする。

【議長】

社会・公民の教科書について意見がある方の挙手を願う。

【D 委員】

主体的・対話的で深い学びができるという観点から考えると東京書籍が一番工夫されているように考える。

【C 委員】

東京書籍と日本文教が優れていると思う。東京書籍については歴史の教科書と同じ理由である。日本文教は盲導犬のときの扱いなどに工夫がある。また、様々な活動を提示している。

【A 委員】

生徒の興味・関心をより引き付けるといった観点から教育出版がよいと考える。地図や、グラフ等の資料も見やすい。

【議長】

社会・地図について意見がある方の挙手を願う。

【D 委員】

帝国書院がよいと考える。社会科の学びのいろいろな場面で活用ができる。

【A 委員】

帝国書院がよい。配色の工夫や見やすさがある。

【議長】

以上で協議を終了する。

【議長】

次に、選定及び選定結果の発表に移る。傍聴者の退席を願う。

【傍聴者退場】

- (4) 選定（非公開）
- (5) 選定結果の発表（非公開）

〔 昼 休 み 〕

B グループ（数学・理科・音楽（一般・器楽合奏）・美術）

数学

- (1) 代表者の報告（非公開）
- (2) 質疑（非公開）

理科

- (1) 代表者の報告（非公開）
- (2) 質疑（非公開）

音楽・一般

- (1) 代表者の報告（非公開）
- (2) 質疑（非公開）

音楽・器楽合奏

- (1) 代表者の報告（非公開）
- (2) 質疑（非公開）

美術

- (1) 代表者の報告（非公開）
- (2) 質疑（非公開）

【議長】

傍聴者の入場を願う。

【傍聴者入場】

(3) 協議

【議長】

数学の教科書について意見がある方の挙手を願う。

【E 委員】

東京書籍と啓林館は今までの課題をそれぞれ解決している。関数とデータ活用については東京書籍がすぐれている。学び方の観点から多様性があること、学習の振り返り等の工夫があること、学び方のわかりやすさの点からも東京書籍が適切だと考える。

【A 委員】

数学的な見方・考え方をより重視しているのは啓林館の方だと考える。また、プロセスを丁寧にしてスモールステップで向上するよう工夫している。力がある生徒の学習にも巻末の課題を豊富にそろえている。

【B 委員】

目の前の教科書を評価すれば、最もわかりやすいのは啓林館だと思う。論理的で中1の数学への導入を考慮しても啓林館が適切だと考える。

【議長】

理科の教科書について意見がある方の挙手を願う。

【F 委員】

新型コロナウイルスの影響で実際に実験ができない状況がある。実際の実験を行わなくても疑似体験ができるようになっている教科書は東京書籍だと考える。

【G 委員】

理科離れなどを考えると生徒の興味・関心を高めることは大切である。その点から大日本図書は努力をしている。写真などもダイナミックなものを入れている。細長い形の教科書は文字数が多く、細かくなっている印象を受ける。内容や形などを含め、全体的に大日本図書がよいと思う。

【H 委員】

東京書籍と啓林館は科学的な探求の流れがよく示してあり、探求を深めることができると思う。実験・観察を中心に探究を深めると考えると、県調査資料から生物や地学の分野で東京書籍には多くの実験・観察の教材が載っている。東京書籍と啓林館は自ら進んで学習することにもよく対応している。

【A 委員】

啓林館は写真が鮮やかである。力試しもあるし、内容も分かりやすい。

【議長】

音楽・一般の教科書について意見がある方の挙手を願う。

なし

【議長】

音楽・器楽合奏の教科書について意見がある方の挙手を願う。

なし

【議長】

美術の教科書について意見がある方の挙手を願う。

【A 委員】

日本文教がよいと思う。学年ごと3分冊になっており扱いやすい。生徒の絵も多く載っており、使われている絵も迫力がある。埼玉県に関連する作品も一番多い。表紙もインパクトがあり引き付けるものがある。

【C 委員】

日本文教は学習の目的や課題の提示が疑問の形で投げかけてあり、美術の世界に引き付けられるように思う。造形の視点から奥深く美術の世界に入っていけると感じた。作業の指示でなく、やることの意義を伝えているのもよいと思う。

【議長】

以上で協議を終了する。

【議長】

次に、選定及び選定結果の発表に移る。傍聴者の退席を願う。

【傍聴者退場】

(4) 選定 (非公開)

(5) 選定結果の発表 (非公開)

〔休憩〕

C グループ (保健体育・技術家庭 (技術・家庭)・英語・道徳)

保健体育

(1) 代表者の報告 (非公開)

(2) 質疑 (非公開)

技術家庭・技術

(1) 代表者の報告 (非公開)

(2) 質疑 (非公開)

技術家庭・家庭

- (1) 代表者の報告（非公開）
- (2) 質疑（非公開）

英語

- (1) 代表者の報告（非公開）
- (2) 質疑（非公開）

道徳

- (1) 代表者の報告（非公開）
- (2) 質疑（非公開）

【議長】

傍聴者の入場を願う。

【傍聴者入場】

- (3) 協議

【議長】

保健体育の教科書について意見がある方の挙手を願う。

【I 委員】

東京書籍が写真も多く、図や文字も見やすい。よって、東京書籍が適切だと考える。

【議長】

技術家庭・技術分野の教科書について意見がある方の挙手を願う。

なし

【議長】

技術家庭・家庭分野の教科書について意見がある方の挙手を願う。

なし

【議長】

英語の教科書についての意見がある方の挙手を願う。

【C 委員】

中学校段階では判断力の育成が課題解決能力の育成につながっていくと考えるが、その点においては東京書籍と開隆堂がよく取り組んでいる。教材の提示や活動の在り方が豊富でバラエティに富んでいることなどトータルで考えると東京書籍がよくできていると考える。

【A 委員】

聞く・話す・読む等いろいろな分野でバランスよく教材が配列されているのは東京書籍である。文法事項についてもキーセンテンス等をしっかりとおさえてありわかりやすい。

【議長】

道徳の教科書について意見がある方の挙手を願う。

【A 委員】

教育出版はスポーツ選手を扱った教材や偉人の伝記的な教材、さらに郷土埼玉の人物の教材を多く取り扱っている。地域の生徒にとって親しみを持って学習ができる。また、表紙も工夫してあり笑顔あふれるものであり、これも生徒を引き付けると考える。

【D 委員】

各社ともいろいろな工夫をしているが、中学校の現状を考えると道徳ノートがあり、書くことにより考えを深められるものがあると思う。

【F 委員】

日本文教の道徳ノートは改良が図られている。また、教師が工夫をしながら活用できるようになっている。

【議長】

以上で協議を終了する。

【議長】

次に、選定及び選定結果の発表に移る。傍聴者の退席を願う。

【傍聴者退場】

(4) 選定（非公開）

(5) 選定結果の発表（非公開）

【議長】

以上で議長の任を解かせていただく。

傍聴者は入場を願う。

【傍聴者入場】

5 諸連絡

【事務局】

- ① 資料の取り扱いについて
- ② 今後の事務処理について

6 閉会

【副会長】

以上をもって、第2回第14採択地区教科用図書採択協議会を閉会する。